

交野市議会議員 くぼた 哲さとし

かがやく交野市議会ニュース No.8

発行人：久保田哲 交野市星田1丁目23-9 電話：072-894-0789 発行日：平成28年秋号

持続可能な街づくりを目指して

こんにちは。いつもお世話になります。

9月議会も終わり、皆様に市議会にお送り頂き、1年が過ぎました。

交野市の取り巻く情勢は、少子高齢化・人口減少の流れの中、財政面などにおいて、依然厳しい環境にあります。そうした中、星田北の街づくりに代表される新たな取り組みを通じて、交野市の財源確保に大きな期待と、その事業の推進に取り組まねばならないと考えています。

今後、人口構造の変動など、厳しい時代に打ち勝つ基礎自治体「交野市」として、しっかりと対応できる持続可能な街づくりを目指して、生活者、納税者の立場で頑張ります。

交野市議会議員

さとし

くぼた 哲

プロフィール

昭和50年1月：西宮市生まれ
平成10年3月：近畿大学法学部 卒業
平成12年8月：平野博文 衆議院議員 秘書(10年6ヵ月)
平成23年9月：交野市議会議員に初当選
平成27年9月：交野市議会議員2期目当選



平成28年 第3回定例議会 9月27日

くぼた議員が一般質問を行う

障がい福祉について

1 グループホームについて

質問要旨

グループホーム数が不足していることへの対策は？

答弁要旨

グループホーム等の施設整備につきましては、「親亡き後」といったニーズに対するサービス不足が生じる可能性がある。今後、先進市の事例を研究していく必要があると認識している。



福祉の窓口(ゆうゆうセンター)

質問要旨

地域へグループホームが進展する際、やはり偏見は点在している。その偏見の解消に向けて取組は？

答弁要旨

計画策定のアンケートやヒアリング調査におきましても、一部、知的障がいや精神障がいについての理解が進んでいない結果になっている。

障がいのある方への偏見や誤解の解消を図るため、精神障がい者の理解と関わり方を学ぶことを目的とし、講演会の開催、広報紙への連続掲載等を行っている。また当事者や支援者が自ら障がいに係る理解啓発を実践している。

くぼたの主張!!



今後のグループホームの整備は、当事者のみならず、親をはじめとする関係者の重要な課題です。「偏見の解消」は、行政や教育の現場で今後「偏見の解消」にむけて、更に取り組んでいかねばならないと考えます。

2 難聴者への支援について

質問要旨 軽度な難聴の子どもたちへの支援策は。

答弁要旨 多くの市町村では、難聴のこどもへの支援に乗り出しています。実施にむけて、検討していきたいと考えています。

くぼたの主張!!



子どもの言語発達、生活適応に大きく影響します。子育てにはお金がかかります。親御さんのお気持ちとして、より機能性の高い補聴器を、我が子につけてあげたいのは当然の気持ちです。早急な支援策の実施を求めています。

質問要旨 私も21年前の阪神・淡路大震災で自宅が半壊した経験を持つ。被災者としての経験上、殺伐とした避難所の中で、障がい者の方が自らの意思を伝えることの厳しさは、被災者だからこそ、言うことができるとおもっている。

通を図ることができる筆談スペース等を図ることを盛り込むべきではないか。

答弁要旨 現在、避難所運営マニュアルの見直しを図っている。筆談等でも対応できるように盛り込んでいきたい。

耳の不自由な方は筆談しますのでお申し出ください



聞こえが不自由な事を表す「耳マーク」

くぼたの主張!!



自らも被災者として、強烈なストレスの掛かる避難所では、健常者ですらストレスを感じます。そんなとき、難聴者の方にとって、意思疎通を図る手段（筆談等）を事前に交野市全体の避難所運営マニュアル化しておくことは、大切です。

3 手話言語条例の制定について

質問要旨 「手話は言語である」という手話言語条例制定の必要性は。

答弁要旨 「健康福祉都市かたの」を宣言し、健康・福祉の推進を図ってきている。障がいのある人もない人も全ての市民が等しく地域社会の一員としてあらゆる

分野に参加できる共生社会の実現にむけ、手話は、確保されるべき意思疎通手段の一つとしての言語であるとしつかりと認識し、検討していく。



手話講習会でのパンフ

くぼたの主張!!



市民全体が、手話にふれあい、ろう者を知ること。理解を深め、誰もが安心できる社会の実現は、この街への「誇りと自信」に繋がります。条例化を図ることで、「手話は言語である」ことへの認識を深め、教育の現場で手話を知り、災害時等の対応では、手話を意思疎通の一つとして対応するというのが、「普通である」そんな社会をつくっていききたいと考えます。

政務活動費

昨今、全国の幾つかの地方議会で不祥事を起こしています「政務活動費」の問題ですが、交野市議会では、既に、1円から領収書の公開を行っております。現在議会全体で、ネット公開を前提に議論しています。政

務活動費が、市民の皆様からの貴重な税金であることを認識し、政策立案・条例制定へむけて研究費用に十分充てられるように、その取り扱いについて、より透明、かつ公正の立場で取り組んでいきます。

ご意見・ご要望や
市政相談はお気軽に

くぼた 哲 までお寄せください。

自宅 〒576-0016 交野市星田1丁目23-9 電話&FAX (072)894-0789 ホームページ くぼた 哲 検索、 メールアドレス s-kubota@s-kubota.jp